

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構新型転換炉原型炉ふげん及び高速増殖原型炉もんじゅの原子力事業者防災業務計画の修正の検討について

2. 日 時：令和4年1月13日 14:35～14:58

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

宮地防災専門官

(以下、テレビ会議システムによる出席)

蔦澤防災専門職、和田専門職

日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部危機管理課 主査、他5名

5. 要 旨

日本原子力研究開発機構から、新型転換炉原型炉ふげん及び高速増殖原型炉もんじゅの原子力事業者防災業務計画の修正として、以下を検討しているとの説明があった(資料1、資料2)。

- ・機構本部の組織改正に伴う変更
- ・原子力災害対策指針の改正に伴う変更

以下は新型転換炉原型炉ふげんのみ

- ・空間放射線積算線量計の更新に伴う変更
- ・ERSSの伝送開始に伴い、運用に係る事項を追加

原子力規制庁から、本計画書記載の防災訓練項目と事業者防災訓練計画の訓練項目に関する整合性についても、今後検討を進めるように伝えた。

日本原子力研究開発機構から、引き続き検討するとの回答があった。

6. その他

配布資料：

資料1 新型転換炉原型炉ふげん原子力事業者防災業務計画の修正内容について(日本原子力研究開発機構新型転換炉原型炉ふげん)

資料2 高速増殖原型炉もんじゅ原子力事業者防災業務計画の修正内容について(日本原子力研究開発機構高速増殖原型炉もんじゅ)